



Withコロナの時代

校長 神倉 美智子

学校再開から、間もなく2か月が過ぎようとしています。幸いなことに、これまでコロナの感染者は出ていませんし、それどころか、不順な天候が続く中でも、例年と比べると、欠席者数がだいぶ少ないです。手洗い、マスク、換気といった病気の予防策を徹底している効果かもしれません。子供たちは本当に元気で、朝、登校指導をしている私に、離れたところからも「校長先生、おはようございまーす！」と元気な挨拶を送ってくれる子がたくさんいて、1日頑張るパワーをもらっています。

しかし、世間とはいうと、決して楽観できる状態ではありません。東京を中心にコロナの罹患者は再び増え続けていますし、横浜、川崎、藤沢でも学校関連の感染者が出てしまいました。

白根小では、学校再開の時点で、カリキュラムの見直しを行い、今年の行事もかなり変更して、年間予定等を作り直しました。しかし、第2波到来かと思われる今の状況を鑑みると、この先の見通しが困難になり、保護者の皆様にも年間行事予定表をなかなか配付できずにいました。申し訳ありませんでした。

先日、その行事予定表もとじ込んだ、学校説明会の資料をお配りしました。感染防止の観点から、今年は紙面でのご説明とさせていただきます。新学習指導要領実施における外国語の教科化や評価、2学期制への移行など、直接ご説明したい内容も多かったのが、残念です。資料をご覧になってご意見、ご質問がありましたら、最終ページのご意見用紙にご記入のうえ、担任までご提出ください。

さて、子どもたちの学校生活はというと、教室では全児童のマスク着用の徹底、頻繁な手洗いと手指消毒、隣と机を離れた配置での授業、黙って食べる前向き給食、異学年交流の先送り等々、少しでも感染リスクを避ける工夫を続けています。

そんな中、1年生の給食の片づけと掃除に、6年生の児童がお手伝いを始めました。

交代で数人が毎日協力してくれていますが、1年生の教室に早足で向かう笑顔の6年生、喜んで迎える1年生、食器や食缶の返却も基本は1年生に任せつつも、優しく声をかけたり、そっと補助したりと、6年生の思いやりのある優しい行動に、見ている私たちも心が温かくなります。

今の状態がいつまで続くのか、この先どうするべきなのか、予測困難で、正解のわからない時代に入ってしまった。Withコロナの時代、やみくもに感染を恐れて遠ざけるのではなく、予防、対応、治療までを正しく理解し、正しく恐れることが必要です。学校教育を行うこと自体がある程度リスクを負っています。その中でも、子どもたちの心と体のことを第一に考えた教育を行い、子どもたちが自分自身で考えて行動できるよう、育てていきたいと思っています。

◆ 8月の目標 ◆

【生活】

身の回りの整理整頓をしよう
時間を意識して行動しよう

【保健】

安全に気をつけて元気に
運動しよう

【給食】

清潔に心がけて
食事をしよう

白根小学校の誕生日をお祝いしました



15日にテレビ放送で開校記念集会を行いました。白根小学校の歴史をクイズ形式で学んだり、お祝いの歌を一緒に歌ったりしました。

スローガンの「みんなと140(いっしょ)〜なかまと歩む1年間〜を合言葉にみんなで元気に過ごしていきたいですね。



5組

給食がはじまりました！

1年生は、初めての給食です。担任や他学年などのサポートを受けながら、みんなよく頑張っています。5組は、1年生から6年生までが2つの教室に分かれて給食を食べています。また、お手伝いとして高学年のおにいさん、おねえさんが下の学年の教室に行ってサポートしてくれています。

給食の準備や片づけの仕方も、協力して進められるようになってきているように思います。



1年生

学校探検パート3！

学校探検をすることで白根小学校のどこに、どんな部屋があるのか知ることができました。そこで次は、「学校では、だれがどんなお仕事をしているのか」を探るために、インタビューをしました。どうしたら仲良くなれるのか考えて質問をしたり、話をしたりしました。

校長先生の好きな給食は焼きそばであることや、生き物が大好きだということを嬉しそうに報告してくれました。もっとたくさんの先生達の名前を知って、仲良くなりたいと意欲を高めていました。



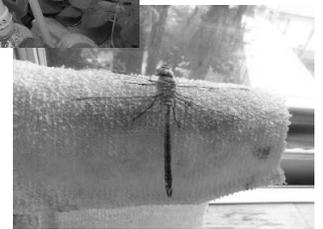
2年生

野菜や生き物が元気に育っています！

生活科の学習で、子どもたちは生き物と野菜を育ててきました。野菜は種類によって成長の速度が異なりますが、徐々に収穫できるようになり、「家で食べたらおいしかった！」という子どもたちの声がたくさん聞かれるようになりました。

生き物も、自分で育てようと思った生き物を頑張って育てました。各学級のヤゴも少しずつトンボに成長して巣立っていきました。

これからも成長を楽しみにしてお世話を続けてほしいです。



3年生

大豆を植えました！

地域の斎藤さんの畑をお借りして、大豆の苗を植えました。種を育苗ポットにまき、葉が出るまでは教室で育てました。「こうやって芽が出てくるんだね」「子葉がホウセンカと少し違うね」など、子どもたちは理科の学習を思い出しながら毎日見守っていました。大きく育ててほしいという思いをこめて、畑に植え、「頑張ってお世話しよう」と張り切っています。

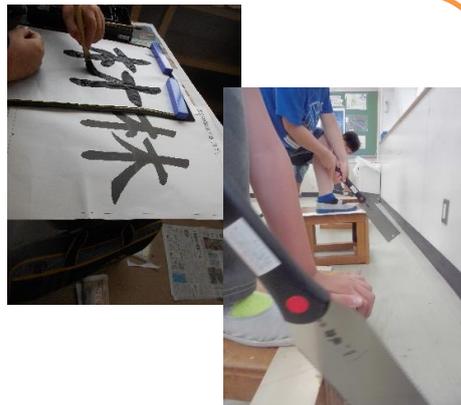




4年生

慎重に、時に大胆に

7月からは書写や図工室での作品制作も始まり、子どもたちは楽しそうに、そして少し苦労しながら活動に取り組んでいました。図工では3年生で使ったのこぎりに再び挑戦しました。薄い板を切ったため、なかなか狙った通りに切るのが難しい様子でした。書写では筆の入れ方や横画・縦画の書き方に気を付けながら、丁寧に練習していました。最初は慎重な子どもたちも最後は大胆に思い切ってリズムよくのこぎりをひいたり、筆を走らせていました。



5年生

委員会活動、スタート!

高学年になり、委員会活動が始まりました。初めての委員会活動に張り切っている様子でした。

「今日は、何組が当番だっけ?」「今日、委員会があるので行ってきます。」など、自分たちの仕事に責任をもって楽しみながら仕事をしていました。これからも学校の中心となって働く5年生に期待しています。



6年生 一年生のお手伝い、頑張っています!

給食の片付けの時間に一年生のお手伝い活動をするようになりました。グループごとに少人数で分担しながらお手伝いをしています。一緒に食缶を運んだり、配膳台の片づけ方を教えて見守ったりするなど、優しく教えている姿が見られています。一年生の教室から帰ってくると「大変だけど楽しかった。」「かわいかった。」という言葉が聞こえ、楽しみながら頑張っている様子も伝わってきています。



今年はインドネシアについて学習します

今年の国際理解教室の先生は、コイケ・メイワティ先生です。今回は、メイワティ先生にインドネシアのことをインタビューしました。

こんにちは。今年の国際理解教室を担当するインドネシア出身のコイケ・メイワティです。国際理解教室では、インドネシアと日本の文化の違いについて学習しています。今回は、インドネシアの学校についてお話します。インドネシアの学校は、朝の7時から12時半まで授業があります。日本はその後みんなで給食を食べますが、インドネシアは給食はなく、家に帰るか、学校の食堂で昼食を食べます。給食を食べた後は、5時間目はありません。家に帰って自分の好きな勉強をしたり、遊んだりして過ごします。私は、アラビア語を勉強していました。

このように、日本とインドネシアとでは大きな違いがあるのです。また、運動会も違います。日本の運動会は、全員がいろいろな種目に挑戦しますが、インドネシアでは近隣の学校と一緒にいき、代表者だけが出るのです。代表者以外の人は、一生懸命応援をします。私は、一人ひとりがいろいろな種目に挑戦している日本の運動会が大好きです。夏休み明けも、みんなで学習することを楽しみにしています。

これからもメイワティ先生と一緒に

インドネシアのことについてみんなで楽しく学んでいけるといいですね。



